

## I. 地域の経済動向調査について

地域の経済動向を把握し、「経営状況の分析」及び「事業計画策定」における基礎資料として活用することを目的として、地域の経済動向調査を実施し分析を行った。

外部データを分析した「滋賀県内の経済動向調査」と、地域内事業所巡回に独自に調査を行ったデータを分析した「彦愛犬地域内の経済動向調査」により、地域の経済動向を明らかにすることを目指した。当事業2回目の調査であり、過去データ等もない状況での調査であったが、調査結果を蓄積することにより価値のある経済動向調査としたい。

使用数値はD I（ディフュージョン・インデックス）とし、増加（上昇・好転・過剰）企業割合から減少（低下・悪化・不足）企業割合を差し引いた値を基本とするが、一部設備投資については実施企業割合とした。

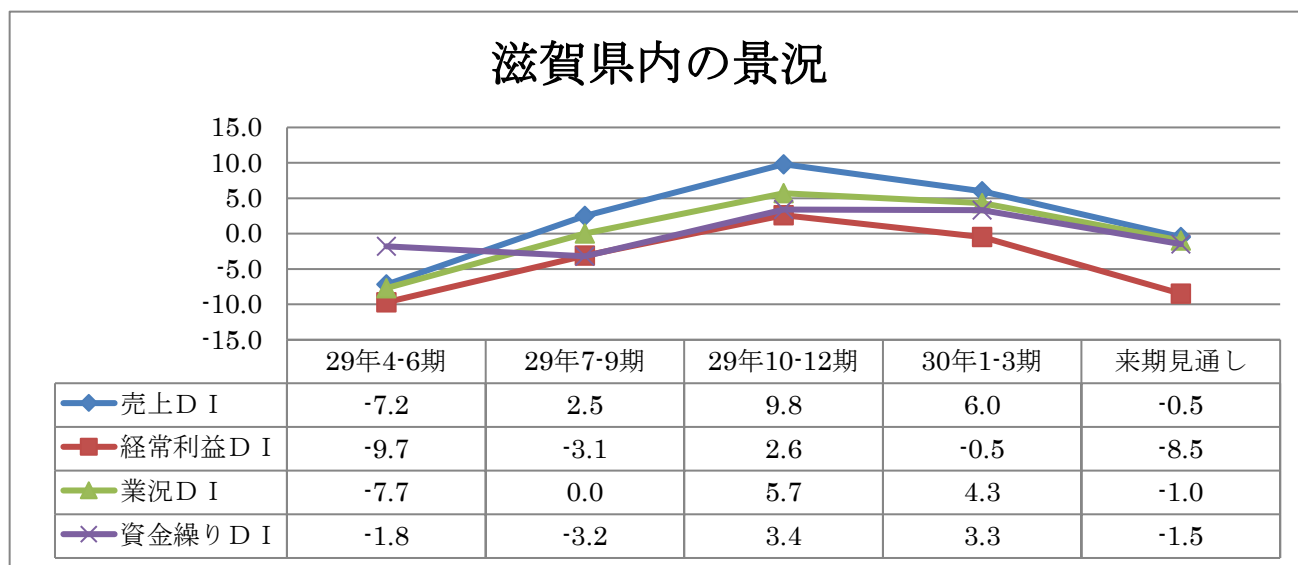
## II. 滋賀県内の経済動向調査 ー平成30年3月期ー

### 1. 調査内容

滋賀県内の経済動向として、公表されている以下の外部データを使用し分析を行った。

- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成29年10月～12月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県景況調査結果報告書（平成30年1月～3月期） 滋賀県商工観光労働部商工政策課
- ・滋賀県内企業動向調査 2017年9～12月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・滋賀県内企業動向調査 2018年1～3月期（株）しがぎん経済文化センター
- ・中小企業景況調査報告書 平成29年10～12月実績 平成30年1～3月予測 滋賀県商工会連合会
- ・中小企業景況調査報告書 平成30年1～3月実績 平成30年4～6月予測 滋賀県商工会連合会

### 2. 滋賀県内の景況（全業種）

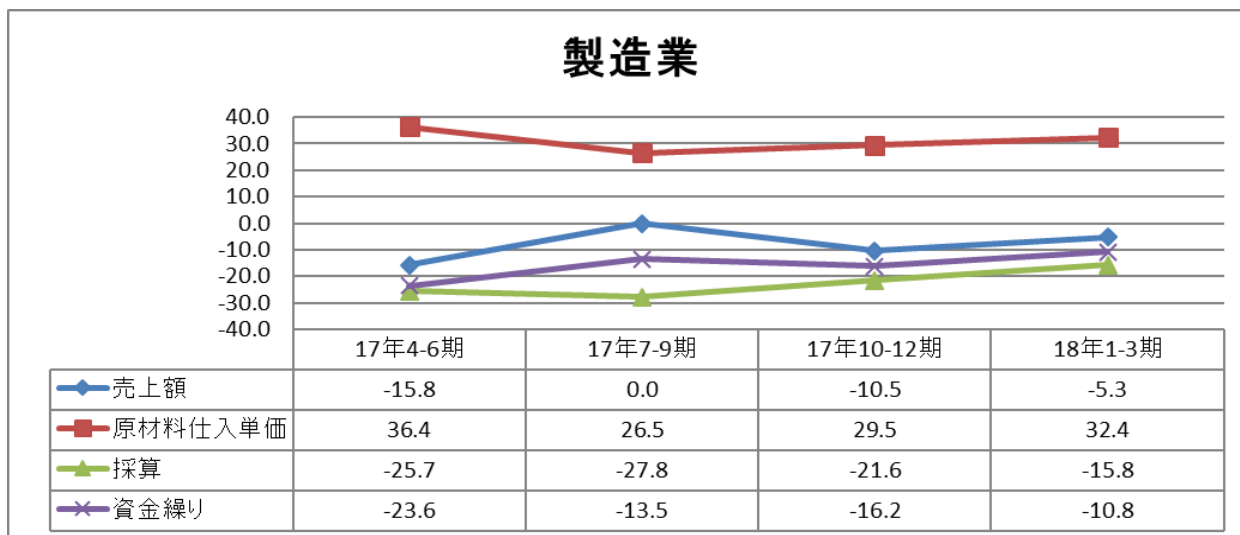


（出典：滋賀県景況調査結果報告書 滋賀県商工観光労働部商工政策課）

業況、売上、経常利益、業況 DI については、H29年度第3四半期をピークに減少へと転じた。景況感は依然マイナス領域にあり、来期の見通しについても厳しい状況にある。

### 3. 業種別景況

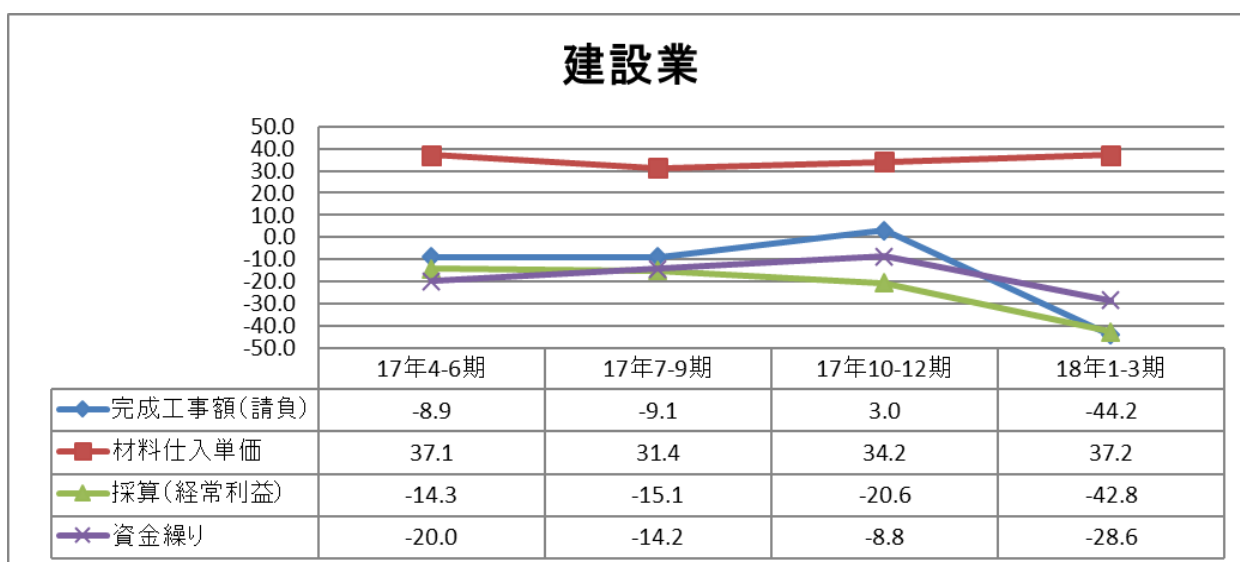
#### ①製造業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が 28.9%に対し、減少企業が 34.2%で減少企業が 5.3 ポイント上回っている。採算の状況は、好転企業が 15.8%に対し、悪化企業が 31.6 ポイントで悪化企業が 15.8 ポイント上回っている。

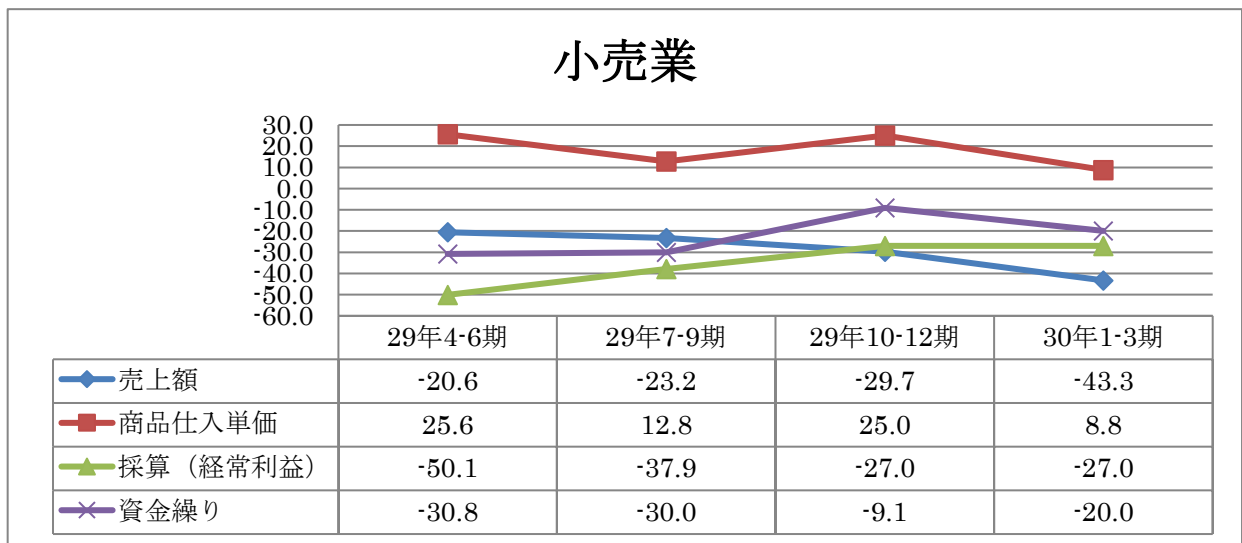
#### ②建設業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

完成工事額は、前年同期に比べて、増加企業 8.8%に対して、減少企業が 53.0%で減少企業が 44.2 ポイント上回っている。採算の状況は、前年同期に比べて、好転企業が 2.9%に対し、悪化企業が 45.7 %で悪化企業が 42.8 ポイント上回っている。

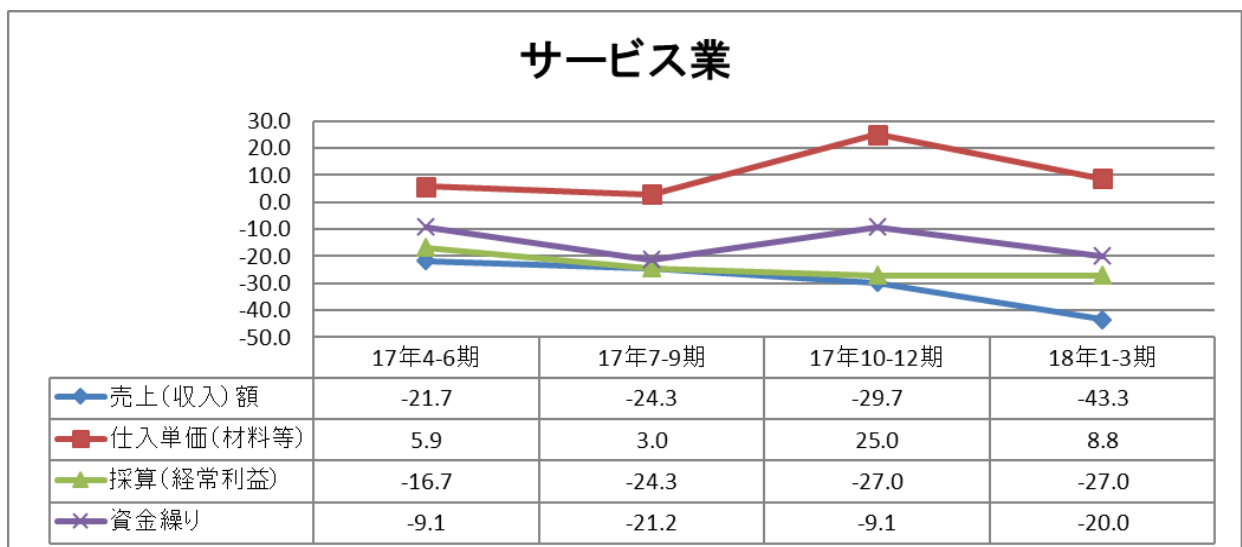
### ③小売業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が 10.0%に対し、減少企業が 65.0%で減少企業が 55.0 ポイント上回っている。採算の状況は、前年同期に比べて、好転企業が 10.0%に対し、悪化企業が 52.5%で悪化企業が 42.5 ポイント上回っている。

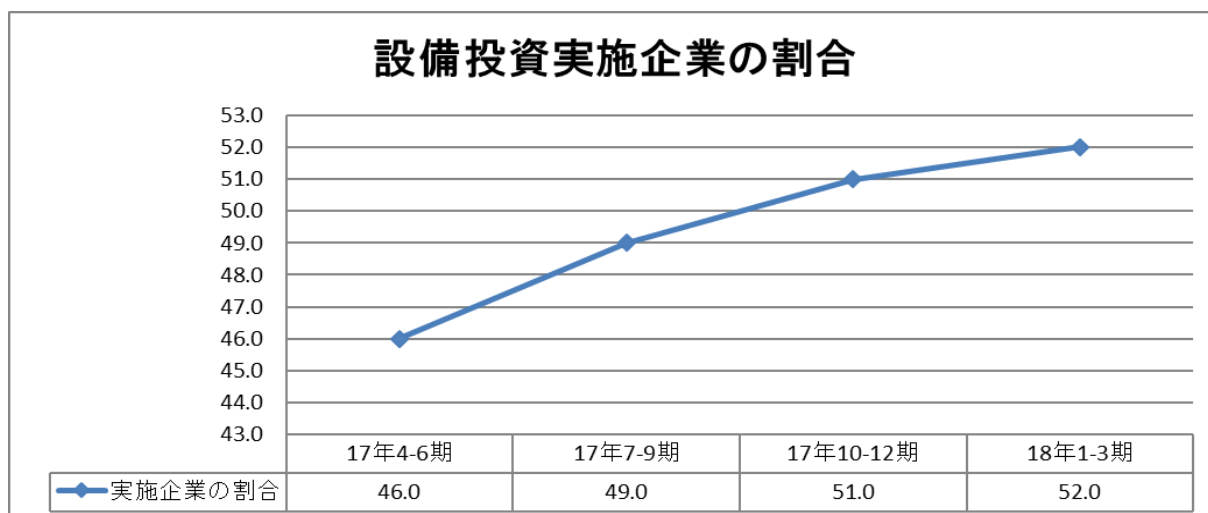
### ④サービス業



(出典：中小企業景況調査 滋賀県商工会連合会)

売上額は、前年同期に比べて、増加企業が 5.4%に対し、減少企業が 48.7%で減少企業が 43.3 ポイント上回っている。採算の状況は、前年同期に比べて、好転企業が 2.7%に対し、悪化企業が 29.7%で悪化企業が 27.0 ポイント上回っている。

#### 4. 設備投資の実施状況



	17年4-6期	17年7-9期	17年10-12期	18年1-3期
製造業	50.0	55.0	54.0	54.0
非製造業	44.0	43.0	47.0	49.0

	17年4-6期	17年7-9期	17年10-12期	18年1-3期
建設業	37.0	39.0	41.0	40.0
卸売業	40.0	43.0	65.0	50.0
小売業	41.0	50.0	41.0	38.0
サービス業	61.0	54.0	60.0	70.0

(出典：滋賀県内企業動向調査 (株)しがぎん経済文化センター)

全業種における設備投資実施企業の割合については、50%を超えており、製造業における投資が好調である。来期の見通しについても増加を予想している。業種別には建設・小売業を除き投資意欲は高い。

### Ⅲ. 彦愛犬地域内の経済動向調査 ー平成30年3月期ー

#### 1. 調査内容

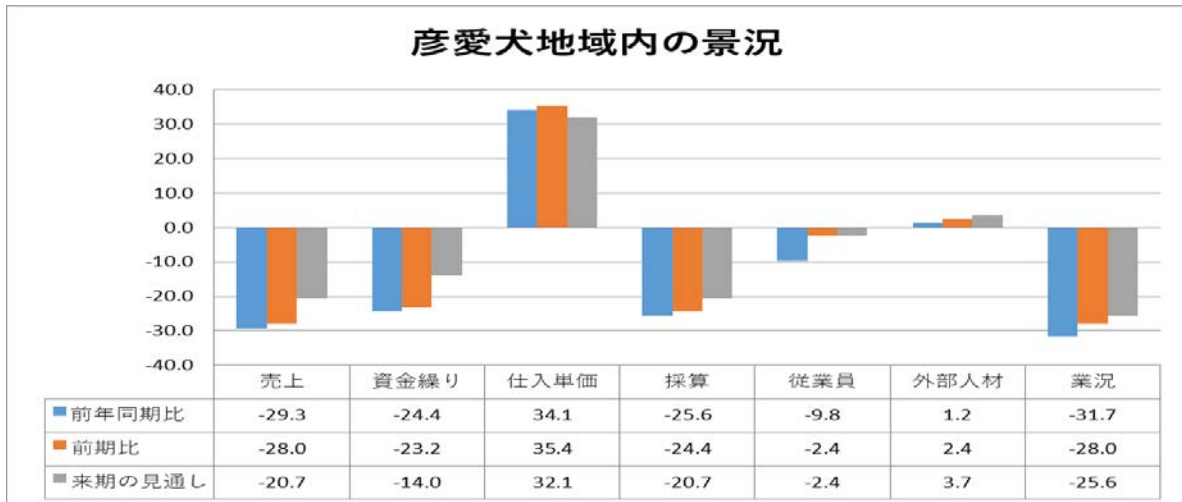
平成30年度7月に、地域内各業種の事業所を業種別に抽出し、平成29年度第四半期の業況についてアンケート形式での調査を実施した。回答を得た事業所数は80社であり、地域の小規模事業者の4.7%に該当する。業種別の回答事業者数は以下の通り。

業種別回答事業者数

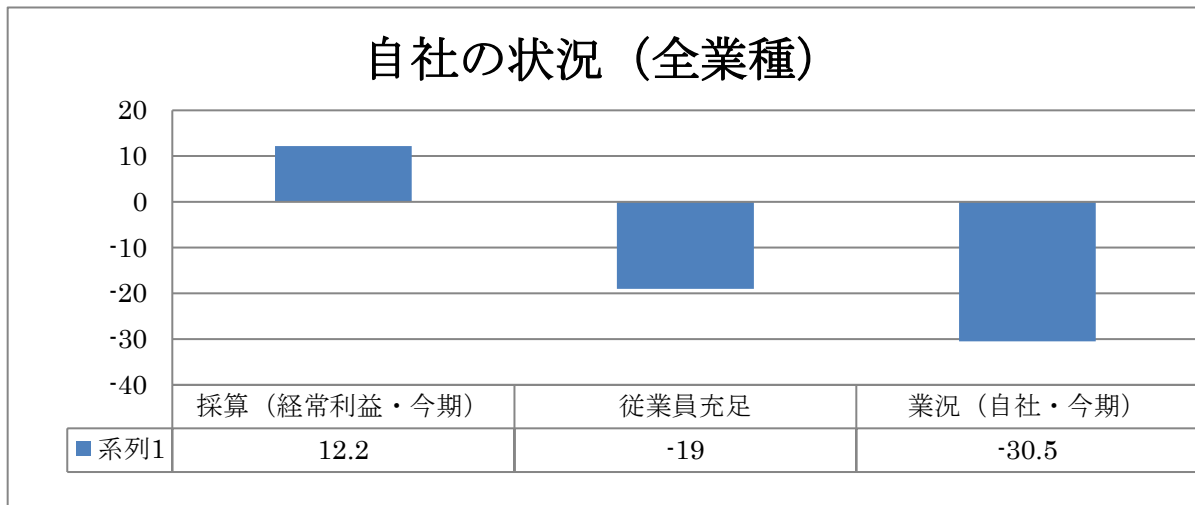
業種	事業所数
小売業	18
サービス業	20
建設業	18
製造業	17
卸売業	7
合計	80

## 2. 彦愛犬地域内の景況（全業種）

※ 前年同期（平成28年10月～平成28年9月）に比べて  
 前期（平成29年4月～平成29年9月）に比べて  
 今期後期（平成30年4月～平成30年9月）の見通し



売上、資金繰り、採算、従業員、業況とも前年同期との比較からマイナス幅の増加が見られ、依然低水準である。仕入単価については減少傾向にある。



採算（経常利益）については、前年同期との比較から0.7ポイント増。従業員数の不足を感じている事業者は-6.2ポイント増。業況についても-3.9ポイント増。採算性は向上しているが、依然、厳しさ感を払拭されない状況にある。